



令和元年度  
学校法人栗原学園

# 事業報告書

平成31年 4月 1日から  
令和 2年 3月31日まで

## 1. 法人の概要

### (1) 学校法人の沿革

昭和	30年	4月	北見市幸町にて北見簿記専門学校を開設
昭和	31年	4月	北見簿記専門学校 北海道知事認可
昭和	42年	3月	校名を北見商科専門学校に変更
昭和	51年	4月	校名を北見商科高等専修学校に変更
昭和	60年	11月	北見情報ビジネス専門学校 開校
平成	10年	2月	オホーツク社会福祉専門学校 開校
平成	16年	1月	オホーツク社会福祉専門学校2号館 落成
平成	16年	4月	オホーツク社会福祉専門学校保育課 開校
平成	16年	9月	遠軽研修センター 設置
平成	19年	9月	栗原学園グラウンド「グリーンティング広場」完成
平成	21年	10月	北見商科高等専修学校校舎リニューアル オホーツク社会福祉専門学校歯科衛生士科校舎 落成
平成	21年	12月	北海道厚生局より歯科衛生士科認可指定
平成	22年	4月	オホーツク社会福祉専門学校歯科衛生士科 開学
平成	23年	9月	オホーツク社会福祉専門学校こども未来学科 認可
平成	26年	3月	文部科学省より職業実践専門課程認定 北見情報ビジネス専門学校（総合事務科・情報通信科） オホーツク社会福祉専門学校 （介護福祉科・こども未来学科・歯科衛生士科）
平成	26年	6月	39キャンパス 完成
平成	29年	4月	北見情報ビジネス専門学校ホテル観光ビジネス学科 開設
平成	30年	4月	企業主導型保育園「こどもの国ステラ」開園
令和	元年	9月	高等教育修学支援新制度認定 北見情報ビジネス専門学校 （総合事務科・情報通信科・ホテル観光ビジネス学科） オホーツク社会福祉専門学校 （介護福祉科・こども未来学科・歯科衛生士科）
令和	2年	3月	文部科学省より職業実践専門課程認定 北見情報ビジネス専門学校（ホテル観光ビジネス学科）

(2) 生徒・学生数の状況

学科・定員・現員（平成31年5月1日時点）

名 称	学 科	年 限	定 員	定員合計	学生数
北見商科高等専修学校	商業科	3年課程	80	240	139
(北海道有朋高等学校)	(経理科)	(3年課程)	(80)	(240)	(139)
北見情報ビジネス 専門学校	総合事務科	2年課程	30	60	38
	情報通信科	2年課程	30	60	37
	ホテル観光ビジネス学科	2年課程	20	40	9
オホーツク社会福祉 専門学校	介護福祉科	2年課程	40	120	36
	こども未来学科	2年課程	40	80	67
	歯科衛生士科	3年課程	30	90	40

(3) 役員の数（令和2年5月1日現在）

理 事 8人

監 事 2人

評議員 17人

(4) 教職員数（平成31年5月1日時点）

学園全体	正職員	講 師
	41名	76名

## 2. 事業の概要

### (1) 概要

栗原学園は昭和30年に初代理事長である栗原太郎が経理士事務所を経営する中で経理教育の必要性を認識し、北見市幸町のピアソン通りの一角に「北見簿記専門学校」を開校しました。時代・社会に対応するべく、北見商科高等専修学校・北見情報ビジネス専門学校・オホーツク社会福祉専門学校の開校、また専門学校においては開校後も新しい学科の設置を行い、地域のニーズに応える運営をしています。本学園を巣立っていった学生・生徒は既に一万名を超えています。オホーツク圏30万人の地域におけるオンリーワンを目指し、この地域になくてはならない学園、必要とされ続ける学園を目指して学科設置、施設設備、教育指導体制の充実を進めています。

## (2) コンセプト

平成27年（創立60周年）を一つの区切りととらえ、「紡ぐ・一園一家」というコンセプトを掲げています。北海道や筑豊には多くの炭鉱があり、一つの山に関わる人は皆、家族同様であるという考えを「一山一家」という言葉で表現していた事を引用し、栗原学園に係る学生・生徒・教職員・関係者は全て一つの家族であるとの考えからこのようなコンセプトを掲げ、令和7年（創立70周年）までの中長期コンセプトとしています。

## (3) 新規事業

令和2年度より対象になる、高等教育の修学支援新制度について、北見情報ビジネス専門学校（総合事務科・情報通信科・ホテル観光ビジネス学科）オホーツク社会福祉専門学校（介護福祉科・こども未来学科・歯科衛生士科）2校6学科の全ての学科に対して対象機関に指定されています。修学に支援が必要な学生に適切な支援が受けられる体制を確立しています。

## 3. 主な活動計画と進捗状況

### (1) 教育力の向上

平成30年度より、一つひとつの学校ではなく、「一つの学園」としての質の向上を図る事を目指して取り組む事を学園全体の共通項目として掲げる。

- ・公開授業の実施…質の向上を目指す為に、全職員が公開授業を実施
- ・教職員研修会の充実…外部講師を招いての研修、教職員ディスカッション・プレゼンテーションの実施（コミュニケーションスキル・障がいを持つ生徒学生への対応スキル）
- ・自己点検、自己把握の実施…各校各科での取組に対する現状と対応に対するディスカッション・プレゼンテーションの実施
- ・運営実施の確認…文部科学大臣認定、職業実践専門課程認可学科に対する着実な運営実施と、新設学科に関しても同様の運営を行い、認可申請を目指す。

## (2) 国家試験への取り組み

学園コンセプトに基づき、授業カリキュラムの充実のみならず、個別指導の徹底を図る事で、合格率の向上に勤めています。

- ・ 歯科衛生士（歯科衛生士科） 95%
- ・ 介護福祉士（介護福祉科） 100% 2期連続
- ・ 情報処理技術者試験（情報通信科） 4試験合格

## (3) 就職への取り組み

就職内定、進路決定率に関しては全員の就職・進路が決定している状況です。高等専修学校においては、多様化するニーズに応えるべく、積極的に進学・就職先の体験を出来る機会を設け、より定着率の高い進路指導を目指しています。専門学校2校に関しては、それぞれの専門職として就職するにあたり、インターンシップでの体験、職業講話等を取り入れ、卒業後の定着率を重視した進路指導に重点をおいています。

- ・ 就職内定率、進路決定率…100%（学園全体）

## (4) 全国経理教育協会主催簿記電卓大会への参加

北見商科高等専修学校と北見情報ビジネス専門学校の取り組みとして、全国経理教育協会主催簿記電卓大会への参加を行っています。簿記と電卓の2つの科目に対して、競技として取り組む事により、より高いレベルでの技術習得を目指しています。

- ・ 電卓の部（高等課程）全道大会【団体の部優勝】
- ・ 簿記の部（高等課程）全道大会【団体の部優勝】
- ・ 電卓の部（専門課程）全道大会【団体の部優勝】
- ・ 簿記の部（専門課程）全道大会【団体の部優勝】

## (5) 観光プランナーとしての実践力養成

北見情報ビジネス専門学校ホテル観光ビジネス学科の取り組みとして、観光プランの作成・実践力を身につける取り組みを行っております。作成したプランを実際に実行し、ガイドと観光客の両方の目線を養います。また、プラン実践力を図るため、北海道エアシステムが募集する「HAC若者の翼 プロジェクト」に学生が応募しております。

- ・ HAC若者の翼 プロジェクト 令和元年度 最優秀賞 受賞

(6) 地域オンリーワンの競技活動への取り組み

北見商科高等専修学校の取り組みとして、中学校の部活動には無い、「フライングディスクサークル」の活動を行っております。高等課程から始める生徒に対して、入門し易く、体力に自信がある生徒から、運動が苦手な生徒まで、幅広く活動に参加できます。

- ・令和元年度 全日本ユース全国大会 第3位